



ONIC
MARELLI

CALSONIC
by MARELLI

2020/11/28-29

Super GT Rd8 Fuji
Race Report

General Comments:

今大会が最終戦となるレース。残念ながらシリーズタイトルを獲得する事は不可能でしたが、それでもチーム一丸となって最後まで戦い抜くことを忘れず全力で取り組みました。

Qualify : P8

QF1は佐々木選手が担当。

フリー走行から考えるとQF1突破は厳しいと考えていましたが、佐々木選手は見事な走りで8番手で終えてQF1を突破してくれました。チームの雰囲気もとても良かったです！

そして、QF2を任された自身はチームと佐々木選手のアドバイスを聞いてからマシンに乗り込みました。いざアタックに入るとT5(100R)で一瞬Rrのコントロールを失いタイムロス、そのままT6(ヘアピン)でも上手くまとめる事が出来ず大きくタイムロスしP8でQF2を終える事となりました。上手くタイムを上げる事が出来なかった原因は、少し慎重に行き過ぎた事でタイヤのピークグリップを引き出すことが出来ませんでした。この結果をしっかり受け入れて次に繋げて行きます。

300km Race : Finished P7

今年最後となるレース。そのスタートは佐々木選手が担当しました。佐々木選手はスタートして直ぐにポジションを上げて周回を重ねていました。そして、早めのピットインを行い、自身へ交代。この時かなり気温も下がってきていたので、アウトラップはかなり気合を入れてタイヤを温めました。一瞬ヒヤッとする場面もありましたが、何とか早めのウォームアップに成功。レース中、他のライバル勢と沢山バトルもしていましたが、後半はアンダーステアに苦戦。それでもとにかく攻めの走りを最後まで貫き通す事に集中し、最後は7位でフィニッシュする事となりました。レース終了後にはチームと無線で「お疲れ様、1年間ありがとう。」と伝え合い、少しほっとした気分になりました。

最終戦は全車ノーハンデとなりライバル勢はかなり強力になると考えていました。それでもチームのみんなは最後までベストを尽くし後半戦は全てポイントを持ち帰ることが出来ました。



皆様、Rd8 Fujiの応援有難う御座いました！

2020 Super GT Series最後となるレース。今大会も最後まで一生懸命攻めの走りをする事に集中して挑みました。7位という数字は決して良いとは言えませんが、後半戦は流れを取り戻し全てポイントを持ち帰れたことは良かったと思います。

そして、今回を持ちまして、今シーズンのレース活動は終了となります。まずは、このような大変な状況の中、スポンサーをして頂いた事に心から感謝とお礼を申し上げます。本当に有難う御座います！皆様の応援があったからこそ、僕は今シーズンを戦い抜くことが出来ました。これからは、今シーズン自身に足りなかった所を見直して来年に繋げるよう準備に取り掛かっていきます。

スポンサーの皆様へ

